

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
優駿スプリント	2018/6/26	SII	大井	1200m	ハイペース	良	展開

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	キタノシャガール	牡3	57	瀧川	フリオーソ	ロベルト系	ウイニングチケット	ナスルーラ系	C	B	C	C	C	C		
	2	サンニコラ	牡3	57	御神本	パイロ	ナスルーラ系	アグネスタキオン	サンデー系	A	A	B	B	A	B	○	
2	3	サンダーマックス	牡3	56	藤本現	アドマイヤマックス	サンデー系	アグネスデジタル	ミスプロ系	C	B	D	C	C	C		
	4	ラルウア	牡3	57	横川	ノボジャック	ノーザン系	チアスブライトリー	サンデー系	A	C	B	B	B	B	△3	
3	5	ハタノサンドリヨン	牝3	55	岡部	ヨハネスブルグ	ノーザン系	ダンスインザダーク	サンデー系	C	B	C	B	C	C		
	6	ビッグマロン	牡3	56	笹川	ショウナンカンパ	ナスルーラ系	アドマイヤドン	ミスプロ系	A	B	B	B	B	B	×1	
4	7	ヴィブラビ	牝3	54	本田	ネオユニヴァース	サンデー系	プリサイズエンド	ミスプロ系	A	B	B	B	B	B	×2	
	8	ミスターバッハ	牡3	57	石崎駿	サウスヴィグラス	ミスプロ系	タイキシャトル	ヘイロー系	B	C	C	B	B	B	△2	
5	9	メモリーメンヒル	牡3	56	真島	フリオーソ	ロベルト系	キャプテンスティヴ	ダマスカス系	A	B	A	B	A	B	▲	
	10	レベルスリー	牡3	57	左海	アグネスデジタル	ミスプロ系	フジキセキ	サンデー系	A	B	B	B	B	B	△1	
6	11	クルセイズスピリツ	牡3	56	達城	サウスヴィグラス	ミスプロ系	バブルガムフェロー	サンデー系	C	C	C	C	C	C		
	12	シングレガシイ	牝3	55	赤岡	タイムパラドックス	ロベルト系	マルゼンスキー	ノーザン系	B	A	C	B	B	B	×3	
7	13	オーサムロード	牡3	56	酒井	ロードカナロア	ミスプロ系	Awesome Again	ノーザン系	C	C	B	C	C	C		
	14	アヴァレソー	牡3	56	吉原	プリサイズエンド	ミスプロ系	アグネスタキオン	ミスプロ系	C	A	C	C	C	C		
8	15	ユニバーサルライト	牡3	56	坂井	ロジユニヴァース	サンデー系	シニスターミニスター	ナスルーラ系	B	C	C	C	C	B	×4	
	16	デニストン	牡3	56	矢野	プリサイズエンド	ミスプロ系	ウエイトオブライツ	ミスプロ系	B	B	B	B	B	A	◎	

隊列図	見解	ラップタイム
ラルウ アヴァ メモリ ビッグ ユニバ ヴィブ サンダ キタノ レベル ミスタ ハタノ オーサ シング クルセ デニス サンニ	<p>前哨戦の優駿スプリントトライアルは、ラルウアが2馬身差の完勝。走破時計1分13秒6は評価できる数字だが、前半600m通過35.5秒と楽に入れたのが大きかった。実際、掲示板に入った5頭を見ると、サンニコラ以外は4コーナー5番手以内。勝ち馬ラルウアは逃げて上り3位タイでまとめているので決して弱い馬ではないが、どちらかというとならぬ3着サンニコラの強さが光った一戦だった。今回はラルウアを目標に控えて味がなかったビッグマロン、時計勝負に持ち込みたいメモリーメンヒル、スタートが決まれば左海騎手で積極策のレベルスリー、前走交流戦逃げ切り勝ちのオーサムロード、快速アヴァレソーが競いかける展開。逃げるラルウアの鞍上がの場文男騎手→横川怜央騎手に替われば、ほかの騎手は空気を読まないはずで、前哨戦のような前残りレースにはならないのではないかと。「ハイペースからの追い比べになる」ことを前提に決め手のある馬から入りたい。</p> <p>本命は人気なさ過ぎのデニストンの一撃に期待。門別から大井に転入した直後は1頭だけ別次元の末脚で1200mで2連勝を飾った馬。(以下省略)</p>	<p>回顧</p> <p>次走狙い馬</p>

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	キタノシャガール		優駿スプリントトライアルは不利な16番ゲートだったが、上手く内に潜り込んでおり、枠の不利はそこまで痛くなかった。3走前に接戦だったレオハイスピードも8着に敗れており、力負けだったのでは。		
	2	サンニコラ	○	前走優駿スプリントトライアルは、負けて強しの3着。レースセンスのなさはネックだが、ハイペースからの追い比べになれば、本馬の末脚が生きてくるだろう。展開ひとつでラルウア、ヴィブラビとは逆転できる。		
2	3	サンダーマックス		2走前の優駿スプリントTRは先行するも10着に敗退。前走の一変りを見ると自分のペースで運べるマイル前後が合っているのだろう。ここは外に速い馬が多いので、揉まれて何も出来ないはず。		
	4	ラルウア	△3	前走優駿スプリントトライアル勝ち馬ながら人気がなさ過ぎだが、展開に恵まれての勝利+テン乗りの横川怜央騎手では「オッズがつく」というだけで飛びつくのは危険か。ただ枠順はいいので、自分の競馬には持ち込むことができるはず。		
3	5	ハタノサンドリヨン		ローレル賞2着の実績があるも、3歳になってから成長がいまひとつ感じられず。近2走も特別戦で完敗しており、重賞では荷が重いか。		
	6	ビッグマロン	×1	前走優駿スプリントトライアルは控えたことで持ち味が生きなかった印象。2走前のマーガレット特別では逃げて勝ち馬サンニコラから0.1秒差の2着に好走。積極的に逃げるラルウアに競いかければ、巻き返しがあってもいい。		
4	7	ヴィブラビ	×2	前走優駿スプリントトライアルで勝ち馬ラルウアから0.4秒差の2着。レース映像を見ただけでは完敗だが、本馬は休み明けの一戦。ひと叩きされて上積みがあれば、0.4秒差は詰まってもいい。		
	8	ミスターバッハ	△2	門別時代以来の1200mだが、サウスヴィグラス産駒で筋肉隆々の見た目から1200mがダメということはないだろう。3走前のクラウンカップでは2着に好走した馬。距離にさえ対応できれば、能力はこのメンバーでも通用する。		
5	9	メモリーメンヒル	▲	キャリア4戦と浅いが、前走交流戦を優駿スプリントトライアルのラルウア（1分13秒6）よりも速い1分13秒5で逃げ切り勝ち。ゴール前の余力、上り37.8秒を見ても、時計はまだまだ詰まりそうで、能力的にはこのメンバーに入ってもヒゲを取らない。		
	10	レベルスリー	△1	前走夏木立賞を2番手から押し切り勝ち。JRAからの転入後はマイル前後を使われていたが、初勝利は中山ダート1200mで、本質的には短い距離が合っているのだろう。スタートセンスが悪く、前走のように先行策を打てるかはゲート次第だが、展開次第では出遅れが逆にプラスに働く可能性はありそうだ。		
6	11	クルセイズスピリツ		転入初戦の若竹特別では3着に好走したが、スローペースの逃げに持ち込めたのが大きかった。1200mでは自分の形に持ち込むのは難しいはずで、力を発揮できずに敗れるのでは。		
	12	シングンレガシイ	×3	タイムパラドックス×マルゼンスキーの血統で、本質的に中距離型も、前が勝手に潰れてスタミナが問われるレースになれば、浮上の余地はあるかもしれない。		
7	13	オーサムロード		目下3連勝と勢いは不気味だが、相手関係に恵まれていた面が大きかったか。前走の走破時計だけでは壁にぶつかるはず。		
	14	アヴァレソー		スピード能力の高い立ち回り型で小回りコースでこそこのタイプ。3走前のゆきやなぎ特別を見ても大井1200mでは分が悪いだろう。		
8	15	ユニバーサルライト	×4	シングンレガシイ同様、バテずに長い脚を使うので中距離型のはずだが、戦ってきた相手は一枚上で、人気もないなら押さえておいて損はないか。		
	16	デニストン	◎	マーガレット特別では上り2位の脚を繰り出して、勝ち馬サンニコラから0.4秒差の3着。今回、サンニコラの方が人気を集めているのは理解できるが、当時は本馬の方が斤量1キ口重く、今回は1キ口軽い立場。「0.4秒差」は縮まると考えるのが自然で、人気がなさ過ぎだろう。		